

Viber 公平使用ポリシー

最終更新日: 2026 年 3 月 23 日

この公平使用ポリシー（以下「**ポリシー**」といいます）は、Viber Out、Viber ビジネスアカウント、および Viber eSIM サービス（それぞれ「**サービス**」、総称して「**サービス**」といいます）に適用される公平使用の原則を定めています。本ポリシーは、各サービスに適用される利用規約を補足し、その不可欠な一部となります。こうした規約には適用可能な場合 [Viber 利用規約](#) そして [Viber ビジネスアカウント利用規約](#)（以下、総称して「**本規約**」といいます）が含まれます。

当社は、当社の裁量によりいつでもこのポリシーを改訂またはアップデートする権利を持つものとします。そのような変更は当社のウェブサイト上で修正されたポリシーを公表することで有効になるものとします。前回の改訂は、上記の見出しの「最終更新日」に反映されます。当該改訂の公表後も引き続き本サービスをご利用いただくことは、当該改訂後の変更を承諾したものとみなされ、あなたは当該変更に拘束されることに同意するものとします。このポリシーに変更があるかどうかを定期的に確認するのはあなたの単独の責任です。

1. 一般的な公平使用の原則

以下の慣行は本契約のすべてのサービスに適用され、公平使用とはみなされません。

- 適用される法律または規制により禁止されているサービスを使用すること、または禁止されている行為に従事すること。
- いかなるサービスを不正、詐欺的、犯罪的、または違法な目的で使用すること。
- 他者の著作権、商標、特許、その他の知的財産権を侵害する方法で本サービスを利用すること。
- 有害、中傷的、または差別的なコンテンツを配布、投稿、または公開したり、差別的な慣行に従事したりするために本サービスを使用すること。

- Viber またはそのパートナーのサービス、ソフトウェア、システムをリバースエンジニアリング、改変、損傷、改ざんしようとしたり、他のユーザーの使用または体験に悪影響を与えようとしたりすること。
- 適用される本規約または Viber の適用されるポリシー（本サービスに関連するパートナーの規約を含む）に違反する方法で本サービスを利用すること。
- 偽造、詐欺的、または欺瞞的なアカウントを作成、運用、または維持すること、個人、企業、ブランド、または団体になりすますこと、自分の身元または所属を偽ること、またはアカウントの指標、フォロワー数、エンゲージメント統計、評価、またはその他のサービス関連データを何らかの方法で人為的に水増し、操作、または偽造すること。
- サービスの制限を回避したり、強制措置を回避したり、プラットフォームの仕組みを操作したりするために、体系的、自動化された、または調整された方法で複数のアカウントを作成、管理、または操作すること（「アカウントファームिंग」）。
- Viber の事前の書面による明示的な同意なく、自動、手動、またはその他の手段により、サービスからユーザーデータ、連絡先情報、個人データ、使用パターン、またはその他のデータまたはコンテンツをスクレイピング、収集、マイニング、収集、抽出、または体系的にアクセスすること。
- Viber が明示的に承認したチャンネル、API、または認可されたインターフェースを介さずに、ボット、スクリプト、クローラー、自動化ツール、人工知能、機械学習システム、またはその他の自動化手段を使用してメッセージを送信し、人工的なエンゲージメントを生成し、自動または予測ダイヤリングを実行し、データをスクレイピングし、またはその他の方法でサービスとやり取りまたはアクセスすること。
- 手動、自動、またはその他の方法を問わず、本サービスを通じて他のユーザーまたは第三者に迷惑な大量メッセージ、商業通信、スパム、またはあらゆる形式の迷惑電子通信を送信、伝送、配布、促進、または可能にすること。

2. Viber Out

Viber Out の価格とオファーは本ポリシーによって制限されます。Viber の価格とオファーは個人の使用のみを対象としたもので (人またはビジネス上のコミュニケーション)、それは [Viber サービス規約](#) に従います。

上記の一般的な公平使用の原則に加えて、以下は Viber Out の公平使用とはみなされない行為のリストですが、これらに限るわけではありません。

- 分数の再販。
- コールセンターの運営。
- 通話それ自体から収益を生み出すことを目的として通話を行うこと (手動または自動で)。ただし、ユーザーによる通常のビジネス上の通話は除きます。
- PBX、コールセンター、コンピュータまたはその他の手段を使用して、ユーザー間でサブスクリプションの分数を共有すること。
- 短時間に複数の電話番号に通話することや、短期間の通話、または通常の使用に反しているその他の異常な通話の行動。
- SIM ボックス、GSM ゲートウェイ、またはその他の端末、ソフトウェア、技術的手段、または方法を使用、展開、または使用を容易にして、国際電話または長距離電話を市内電話として変換、ルーティング、操作、または終了すること、適用される相互接続料金、国際終了料金、ネットワークアクセス料金を回避すること、またはその他、本サービスに関連して Viber、そのネットワークオペレーター、または相互接続パートナーに支払われる料金または手数料を回避、回避、または削減すること。

3. Viber ビジネスアカウント

Viber ビジネスアカウントは本ポリシーによって制限されます。Viber ビジネスアカウントは、[Viber ビジネスアカウント利用規約](#) の条件に従い、中小企業のみが使用できます。

このポリシーの目的上、マクロビジネスおよび小規模ビジネスとは、従業員数が 50 人未満で、年間売上高および/または年間貸借対照表の合計が 1,000 万ユーロを超えず、ビジネスアカウントチャットで 1 暦月 (GMT+0 タイムゾーン) あたりに送信されるメッセージの数が 10,000 件を超えないビジネスのことを指します。Viber は、メッセージ量、従業員数、および離職率のしきい値を含む適用可能なしきい値を独自の裁量で随時調整する権利を留保し、調整されたしきい値は Viber のウェブサイトで開催された時点で有効になります。

上記の一般的な公平使用の原則に加えて、Viber ビジネスアカウントの公正使用とはみなされない行為の非網羅的なリストを以下に示します。

- ビジネスアカウントチャットで 1 暦月 (GMT+0 タイムゾーン) あたりに送信されたメッセージの数が 10,000 件を超える。
- 50 人以上の従業員を雇用する企業が Viber ビジネスアカウントを設定または継続して使用すること。
- 年間売上高および/または年間貸借対照表合計が 1,000 万ユーロを超える企業の場合、Viber ビジネスアカウントの設定または使用の継続。
- 製品またはサービスを提供、掲載、展示、販売すること、または法律で禁止されている行為に従事すること。
- アカウント名、住所、製品またはサービスの説明、価格などを含むがこれらに限定されないビジネスの詳細または情報が不正確、誤解を招く、不完全、不十分、一般的、無関係、最新でない、または提供されているとされる製品またはサービスと一致しない情報を提供または使用すること。
- 著作権、商標、特許、その他の知的財産権を侵害する製品またはサービスを掲載または販売すること。
- 虚偽の広告、価格操作、偽のレビューなどの欺瞞的または詐欺的な行為。
- ビジネスアカウントを、個人的な性質、非営利的、または真正もしくは宣言されたビジネス目的と一致しない方法で使用すること。

- ビジネスアカウントが表すビジネス活動と矛盾する、無関係である、虚偽である、または合理的に関連していないテキスト、画像、ビデオ、その他の視覚要素を使用または表示すること。

4. Viber eSIM サービス

Viber eSIM サービスは、[Viber 利用規約](#)の規定に従って個人または非商用目的のみでの使用を目的としています。

上記の一般的な公平使用の原則に加えて、Viber eSIM サービスの公正使用とはみなされない慣行の非網羅的なリストを以下に示します。

- サービスを商業的使用、再販、リースまたは営利目的で使用すること。
- 本規約、その他の Viber の規約、または Viber のネットワーク事業者もしくは技術パートナーの適用ポリシーに違反する方法で本サービスを利用すること。
- 本サービス、Viber またはそのパートナーのネットワークのパフォーマンス、または他のユーザーのサービス品質や体験を混乱させ、低下させ、または妨害する活動または使用法。
- 他のユーザーの平均使用量よりも過度に高い、または大幅に高い使用量により、Viber またはそのパートナーのネットワークまたは他のユーザーへのサービス品質に悪影響が生じる場合。
- 本サービスのセキュリティ、認証、または使用制限を回避、無効化、または妨害するような方法で本サービスを使用する、または他者に本サービスを使用するよう誘導すること。

5. 執行

Viber は、本ポリシーの潜在的な違反を検出し、すべてのユーザーにとって安全でポジティブな体験となるようサービスを維持するために、自動システム、手動レビュー、またはその他の手段を通じて、あなたの利用データ、アクティビティデータ、メタデータ、利用パターン、パートナーネットワークおよびテクノロジーパートナ

ーから受信した信号およびデータ、eSIM プロビジョニングデータ、通話記録、メッセージングメタデータ、およびあなたのサービス利用に関連して生成されたその他のデータを監視、収集、アクセス、および分析する権利を留保します。このセクションは、本ポリシーの目的における使用関連の監視に適用され、[Viber 利用規約](#)下での Viber のより広範なアクセス、モデレーション、またはレビューの権利を損なうものではありません。

このポリシーにおける非公正使用慣行のリストは網羅的なものではありません。また、Viber は、不法な、禁止された、尋常でない、不適切な、誤解を招く、または異常なアクティビティに基づいて、Viber の独自の裁量により、その他の行動が公平使用に相当しないと判断します。本ポリシーまたは適用される規約に従わなかった場合、Viber の独自の裁量により、事前の通知なく（適用法が別途規定する場合を除き）、あなたのアカウント、サービスへのアクセス、または Viber とあなたとの関係の全部または一部の表示が制限、停止、終了、ブロック、または制限されることがあります。

Viber は、あなたの使用を法令に準拠させるための指導、支援、または是正措置を提供する場合がありますが、その義務を負うものではありません。Viber が違反が是正されたと判断した場合（全部または一部を問わず）、Viber は、Viber が合理的に実行または要求するレビュー、検証、および/またはコンプライアンス確認に従って、独自の裁量で、以前に適用された強制措置の全部または一部を解除、撤回、削除または修正することができます。

Viber は、いつでも独自の裁量により、ユーザーに対し、本サービスの利用資格または本ポリシーの遵守を証明する文書、証拠または証明の提供を要求する権利を留保します。これには、事業規模、従業員数、年間売上高、本人確認、または Viber が合理的に要求するその他の情報が含まれますが、これらに限定されません。ユーザーは、Viber が指定する期限内に当該文書を提出する必要があり、提出しない場合、サービスへのアクセスの停止、終了、または制限を含む強制措置が取られる場合があります。Viber は、かかる文書を要求する理由を説明する義務や、コンプライアンスの十分な証明として提供された文書を受け入れる義務を負いません。

Viber は、独自の裁量により、ユーザーに事前に通知することなく、法執行機関、規制機関、ネットワークパートナー、テクノロジーパートナー、またはその他の関連する第三者に対して違法、詐欺的、または有害であると Viber が合理的に判断したあらゆる活動を報告し、適用法で許可される範囲で関連するユーザー データを開示するなど、かかる活動に関連するあらゆる調査、調査、または手続きに全面的に協力する権利を留保します。本サービスを利用することにより、各ユーザーは、本サービスの利用が本ポリシー、適用される利用規約、および適用されるすべての法律および規制に完全に準拠していることを継続的に表明し、保証するものとします。この保証に違反した場合は、本規約の重大な違反となり、Viber は追加の通知や是正の機会なしに直ちに強制措置を取る権利を有します（適用法で別途規定されている場合を除く）。

2026 年 3 月現在の Viber 公平使用ポリシー